



健やか親子21

## 産後ケア事業に関する研修

地域において妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を構築していくことは、子育て家庭の不安の解消には欠かせません。特に妊産婦のメンタルヘルスケアや児童虐待の効果的な予防には出産直後のケアが重要だとされており、母子の心身へのケアを行う「産後ケア事業」を整備し実施していくことは喫緊の課題と言えます。

本研修は、妊産婦の身体面・精神面のケアに関する基礎知識等を身につけ、適切なケアの提供につながることのできる保健師、助産師等の養成と、妊産婦等に対する支援の充実を図るために開催します。

《開催日・会場》 **受講料:無料 定員:各 100名**(定員を超える申し込みがあった場合は調整させていただきます)

8月10日(土)【東京】平和と労働センター・全労連会館 2階 ホール(文京区湯島)

10月5日(土)【福岡】リファレンス駅東ビル 3階 H-2(福岡市博多区)

《受講対象者》 自治体において産後ケア事業を中心的に担っている者(または、産後ケア事業の実施に向け、中心的な役割を担っている者)及び、自治体の委託を受けている産後ケア事業実施施設の職員  
**※対象者以外は受講をお断りさせていただきます。あらかじめ御了承ください。**

《到達目標》

- ・妊産婦の身体面や精神面のケアに関する基礎知識等を理解する。
- ・助産師、保健師等による適切な産後ケアの提供につなげることができる専門職の養成し、専門職としての支援を充実させる。

《プログラム》(受付 9:40~9:55) ※敬称略

9:55~10:00 開会・事務連絡

10:00~10:30 **行政説明 「最近の母子保健の動向」**

講師：厚生労働省子ども家庭局母子保健課

10:30~11:30 **講義① 「産後の母子を地域で支える」**

- ・子育て世代包括支援センターとの連携について
- ・産婦健診と産後ケア事業の関わり方 等

講師：市川 香織

11:30~11:40 休憩

11:40~12:40 **講義② 「産後の母子を地域で支える～助産院の立場から～」**

- ・産後ケア実施施設での支援
- ・行政と医療機関等が協力するためのポイント 等

講師：高室 典子

12:40~13:40 昼休み

13:40~15:00 **事例紹介 「産後ケア実施施設と子育て世代包括支援センターの連携」**

15:00~15:10 休憩(移動含む。)

発表自治体：調整中

15:10~17:00 **ディスカッション 「産後ケア事業実施施設と自治体の連携を考える」**

ファシリテーター：市川 香織

《講師》(五十音順・敬称略)

市川 香織 東京情報大学看護学部看護学科 准教授/産前産後ケア推進協会 代表理事

高室 典子 助産院エ・ク・ボ 院長/北海道助産師会 会長

● 本研修に関するお問合せ ●

運営事務局：一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館  
<http://www.jfpa.or.jp/> 電話 03-3269-4785 (平日9時~17時・祝日除く。) FAX 03-3267-2658

■ 「母子保健指導者養成研修」特設 WEB サイト ⇒ <http://www.jfpa.info/boshi/> ■

**お申込みは、特設 WEB サイトよりお願いいたします。**

こちらからもアクセス可能です⇒

